

# 教育同窓会 会報

- ・教育学部
- ・人間社会学域  
学校教育学類
- ・大学院教育学研究科
- ・養護教諭特別別科

発行：金沢大学 教育同窓会事務局

第7号 2017.3.22



## 「学校教育学類の 現状と課題」

学校教育学類長  
守屋 哲治

2016年4月に学類長に就任しました守屋です。本学類の現状と当面する課題について、同窓生の皆様にお伝えしたいと思います。

### 1. 学校教育学類の現状

国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の就職状況が毎年1月に文部科学省から公表されています。金沢大学学校教育学類は、卒業生から進学者および保育士を除いた教員就職率で、平成27年3月卒業生が81.0%(全国5位)、平成26年3月卒業生が83.3%(全国3位)、平成25年3月卒業生が81.3%(全国4位)とここ数年安定した好成績を残しています。今年の1月末に発表された平成28年3月卒業生のデータでは73.7%で全国10位とやや落ちましたが、進学者および保育士を除かない純粋な教員就職率では70.0%で全国5位と健闘しています。

この背景には、もちろん団塊世代の大量退職に伴う採用枠の拡大があることは否めませんが、近隣大学と比較しても採用率に差が出ていることから、本学類の取組が実を結んで来ているということがいえると思います。

その一例として、毎年9月に学類の3年生と4年生が附属学校園および金沢市を中心とした公立学校で教育実習を行っていますが、実習生には必ず大学の実習指導教員がつき、週1回は事中指導を受ける体制をとっています。また、学類の教員を採用する際には、分野に関わらず必ず面接の際に模擬授業を行ってもらうなど、教育力・指導力にも重点を置いた人事を行っています。このような取組を今後も継続・強化していくことで、石川県だけでなく北陸地域全体を代表する教員養成学部としてさらなる努力を続けて行きたいと思っています。

また、現職教員の研修への貢献も、学校教育学類の教員にとっては重要な仕事です。石川県教育委員会との共催で通年実施している「金沢大学連携ゼミナール研修」では、学校経営、特別支援、小・中音楽、高校英語などのように、分野・校種・教科ごとのゼミナール研修を毎年6講座開設し、約40名の現職教員が研修を行っています。また、学校研究の質的向上を図ることを目的とした「学校指導アドバイザー制度」により、毎年10校程度に学類教員を派遣しているほか、県教育委員会主管事業「学類向上プログラム」の推進チームに学類教員を派遣し、さらには学校教育学類研究員として県内公立学校教員を受け入れて個人研究を支援したり、現職教員研修会へ学類附属教育実践支援センターの教員を派遣するなど、様々な形で現職教員の研修や学力向上のための支援を行っています。

### 2. 今後の課題

金沢大学学校教育学類は現在、専任教員数が56名と、国立の教員養成系大学・学部の中では最小の規模です。ここから、さらに4名の人員削減が決定していて、人数的にはギリギリのところまで来ています。

その一方で、教職課程の科目を大括り化したり、新たに「学校インターンシップ」を導入するなどの大幅な教員免許法改正や学習指導要領の改訂、地域と学校の連携・協同に向けた改革、養成・採用研修を通じたキャリアシステムの構築など、教員や学校に関わる制度の大きな改革が行われようとしており、これらへの対応が求められています。

また、金沢大学は、平成26年に文部科学省が国際化を推進するために創設したスーパーグローバル大学事業に採択され、日本のグローバル化を牽引する立場にあり、学校教育学類の学生にもグローバルな視野を持たせるような海外研修プログラムなどを開発して行かなければなりません。

このような課題に対処しながら、地域の教育の根幹を支えて行き、地域に貢献する学類を目指して行きたいと思っています。

## シリーズ 大学を訪ねて④

金沢大学人間社会学域

学校教育学類附属小学校

副校長 的場 茂樹



本校は、明治7年に「石川県集成学校付属小学校」としてスタートしました。現在創立149年の県内でも伝統のある学校です。平成7年9月に広坂（現21世紀美術館）から今の平和町に移転してきました。平成20年には国立大学法人法により現在の「金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校」という名称になりました。



本校には二つの大切な任務があります。一つは教育の研究・実践校としての任務です。大学の学校教育学類及び5校園と協力して教育の理論と実際に関する研究並びに実証を行い、教育の現場に必要な情報を提供します。今年度は11月18・19日の両日に『考える子を育む』という研究テーマで教育研究発表会を実施しました。全国からのべ500名を越える参観者を迎えて盛大に実施することができました。

もう一つは教育実習の運営・指導の場としての任務です。大学の学校教育学類学生の教育実習実施校として計画・運営、及び実習生の直接指導に当たります。今年度からは教職大学院とも連携しながら学生を受け入れています。

学校の敷地には、自然がいっぱいで児童がのびのびと活動しています。学校前の「ふれあい広場」には柏の木が茂っています。柏の葉が冬の寒さに耐え、春になり、新芽が芽吹くまでその枯れ葉が落ちないことから、良き伝統を受け継ぐという本校のシンボルになっています。校章はその柏の葉がモチーフとなっています。

本校の教育方針は

- ①豊かな人間を醸成する (徳)
  - ②自ら学ぶ生涯学習の基盤をつくる (智)
  - ③たくましく生きる心や体を育てる (体)
- 智・徳・体のバランスの取れた児童の育成を目指しています。

本校の特色を一言で言うと

「古き良き伝統的な教育と先進的な教育の融合」ということが言えます。

「古き良き伝統的な教育」では、特に「書くこと」「話すこと」を中心に言葉（日本語）を大切にした教育の実践を行っています。春には明治22年から続いている「ふじだなお伽会」という行事があります。これは、藤棚の下でたくさんの保護者が参観する中、各クラスの児童が詩や物語を朗読・群読をしたり、創作童話を発表したりします。言葉を大切にした指導を行い、この経験がたくさんの人の前でも堂々と発表ができる力を養います。また、昭和25年から3年生以上の児童が毎日の学習の記録と日記を綴っています。担任の教師はそれに対して毎日コメントを返します。これが書く力を養うと同時に担任と心を通わせる大切な指導の場にもなっています。

「先進的な教育」では、PCやタブレット、電子黒板を従来の教育と組み合わせたICT教育を積極的に取り入れています。どの児童もICT機器をノートや鉛筆を使うように調べたり、発表したりする手短な道具となるように日常的な活用を目指しています。



本校では今年度から10月にマラソン記録会を実施しました。智・徳・体のバランスの取れた児童の育成の一環の行事です。幼稚園から高校の学校園の敷地内をたくさんの保護者の応援の下、元気に走りました。

最後になりますが、本校の学校の様子はホームページで公開していますので、ご覧頂ければ幸いです。

(<http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/fusho>)

# 時の流れ 金沢大学教育学部「31会」

平成27年9月29日(火)～30日(水) 湯涌温泉「お宿 やました」

昭和29年5月、それは懐かしい「階段教室」から始まった。講義が終わった直後、一人の学生が同期生全員の前に立ち、そして、呼びかけた。

「私達のご縁があり机を同じくして学ぶことになりました。今後の勉学の充実とお互いの親睦のために『同期の会』をつくり互いに絆を強めませんか」

会場に賛同の声が満ち溢れました。「31会」のスタートです。

そして、最初の集いは、同年6月に上辰巳方面への遠出となりました。晴天の中、幾つかの小集団になりながら、お互いの過ごし方や将来について話し合いました。そして、強い仲間意識の芽生えを沸々と感じました。末永い交流の日々の始まりです。

学舎を去った後の「同窓の集い」は、加賀・金沢・能登の3地域の同窓生の熱意と友情に支えられ、至福の時と思いを重ねながら今日に至っています。

思い起こせば、新装なった「六華苑」での会合を初めとして、山中「翠明」・湯涌「湯の出」和倉「あえの風」・金沢「KKRホテル金沢」・珠洲「ビーチホテル」・湯涌「お宿 やました」等々の会場で、同窓の絆を確かめ合ってきました。

「同窓会」というものは、誠に不思議な力を持っています。どの集いにも「個性」があり、忘れ難い想いが心に生き続けています。そして、それは、貴重な財産ともなっています。

しかし、私達の歳も、既に80代半ばに近づいてきました。そして、お互いの加齢と共に、「同窓会」の継続が困難と思えるようなことが多くなってきたのです。

私達自身の健康問題、家族関係の問題等々、人生の終盤の影響が重くのしかかってきています。

それに伴い、加賀・金沢・能登と3地域で、順に同窓会のお世話をすることが難しくなり、「金沢の者がお世話を・・・」ということが多くなりました。

それは致し方のない「時の流れ」である、と受け止めています。

そういう経緯の中、平成27年9月、久しぶりに湯涌温泉『お宿 やました』において、心待ちにしていた同窓会をもちました。

歴史と自然の中に息づく金沢の奥座敷湯涌で、同窓生と共に

白い湯気の立ち上るお湯に包まれていると、若い頃の話で盛り上がります。「同窓会っていいもんだなあ」と、改めて強く思います。

そして、宴会では、満面歓びに満ちた顔(^\_^)顔(^\_^)顔(^\_^)・・・さらに、音楽に合わせて宴会場を踊り回る同窓生の姿にふれると「開催してよかった」と自ずと笑みが零れてきます。



## — 歌あり踊りあり —

同窓会の継続については、予想通り「また、やりましょう」「続けましょう」と、声がかかります。同窓会って、本当に、不思議な魅力を持っているのですね!!!

ともあれ、会の開催を継続するためには、お互いに健康であることが不可欠です。「人は感情から 老化する」と、何方かが言っていますが、「然り」です。

まさに「私達の人生は、未だ進行中であり、生気に満ちている」と、思っています。残された人生、八十路を「生きがいと幸福感に満たされながら、健やかに歩いていきたい」そのように強く願うこの頃です。この想いが心に満ちている間は、次の同窓会を大きく手を広げて近づいてくるように思います。(上信夫)



生気溢れる同窓生の皆さん(湯涌温泉にて) H27.9.29

## 教育同窓会 役員一覧(H28年度)

会長	金浦 修郎(S43)
副会長	澤野 等(S45) 飯田 一郎(S38) 高山 文雄(S39)
会計	東 実(S50) 大杉 繁(S50)
監事	野村 祐治(S34) 岩田 靖夫(S43)
顧問	守屋 哲治(学校教育学類長) 田邊 俊治(教職実践研究科長) 山本 博男(金沢大学名誉教授 S47) 窪田 長世(元同窓会長)
支部長	阿戸壯一郎(小松) 池野 忠(金沢) 森田 敦志(金沢市) 池島 康衛(七尾) 高山 文雄(輪島)
事務局長	本多 芳樹(S53)
幹事	坂根 功一(S55) 坂井 昇(H1)
服部	浩司(H20)
辻谷	友紀(H15修 大学職員)
中島	康博(H19修 大学職員)

## 教育同窓会 会計決算報告(H27年度)

平成27年度 金沢大学教育同窓会 会計決算報告 (H27.4~28.3)

【収入】

項目	金額(円)	備考
1 繰越金	1,444,074	
2 会費	1,214,370	26年度入学生61名 臨時同窓会費1名
3 利子	493	
合計	2,658,937	

【支出】

項目	金額(円)	備考
1 会議費	0	
2 通信費	35,088	住所変更連絡料金後継郵便料 事務連絡費
3 事務用品費	900	印刷用紙 など
4 分担金	0	
5 印刷送費	1,104,419	会報No6印刷、発送費等
6 慶祝費	150,000	27年度卒業祝 図書カード(1,000円×150人)
7 その他	6,000	会報原稿執筆謝礼(2名)
合計	1,296,407	

収入総額2,658,937—支出総額1,296,407=1,362,530  
【差引残高】 1,362,530円は28年度事業に繰り越し

## ☆☆☆学友支援室からのお知らせ☆☆☆

平成29年第11回ホームカミングデイ 10月28日(土)に開催決定  
卒業生・修了生の皆様、青春の学舎で校歌をうたいませんか！

第10回は、平成28年10月29日(土)、本学角間キャンパスにおいて開催しました。歓迎式典には176名、懇親交流会には150名の卒業生およびそのご家族等にご出席いただき、大変賑やかな1日になりました。歓迎式典では、山出 保 金沢大学学友会会長の祝辞、山崎 光悦 学長による歓迎挨拶、山本 博 理事・副学長による金沢大学の近況報告の後、もりのみやこ少年少女合唱団(26人)から「角間里山みらい」のイメージソング「森に入ろう」の披露がありました。特別講演では、国立大学法人小樽商科大学長 和田 健夫氏(法文学部昭和50年卒業)から「大学に身をおいて：ささやかな回顧」と題し、ご講演いただきました。引き続き、金沢大学学友会 第6回役員総会が開催されました。

懇親交流会では、琴尺八部による「六段の調」の演奏があり、また、卒業生有志による「校歌」、「北の都」の高唱があり、会は大いに盛り上がりました。

第11回金沢大学ホームカミングデイは、平成29年10月28日(土)に開催します。この前後日に同期生やサークル仲間の皆様との同窓会の開催をご計画いただき、懐かしい母校にぜひお越しください。

○金沢大学学友支援室Webサイト (ホームカミングデイの情報も掲載)

[http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad\\_gakuyu/index.html](http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/index.html)

○学友支援ニュース・レター (学友支援室Webサイト内にPDF版を掲載)

同窓会の開催予定や報告、本学の行事・イベント等をご紹介します。

### ★同窓会情報をお寄せください★

同期会や研究室の同窓会などの動向、開催予定や開催報告を、同封の返信用はがきで事務局までご一報ください。(幹事以外の方でも構いません。簡単な内容を連絡ください)

同窓会を開催するために、名簿などの情報が必要でしたら、事務局までお問い合わせ下さい。

【事務局】 〒920-1192 金沢市角間町  
金沢大学事務局 学友支援室内  
Tel 076-264-5081  
[gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp)  
事務局長:本多(Tel.090-9765-8651)

### ★臨時同窓会費(一口1,000円)にご協力ください★

【ゆうちょ銀行】 振替番号:00710-9-100435

加入者名:金沢大学教育同窓会

同窓会名簿の維持と会報発行活動のためにお願ひします

### 編集後記

学校現場では教職員の大量退職の時代となり、世代交代が進んでいます。そのため多種多様な研修プログラムが生まれ、それに大学の先生方が講師として招かれることも増えたようです。また、退職した教職員が研修の支援に借り出されることも多くなったと聞いています。大学と卒業生が連携して教育の質的向上に寄与できれば幸いです。  
(副会長 澤野)